

2019年3月9日ベルリン かざぐるまデモ

SNB を代表してのはじまりの演説

今日、こうしてデモに集まってくださった皆さん、そして世界各地でフクシマ原発事故 8 周年を追悼して集まってくださった皆さん

毎日、暗いニュースや映像ばかりがフクシマから届きますが、今日は意識して一ついいニュースから始めたいと思います。

日立製作所は今年 1 月に、英国で計画されていた原子力発電所の建設事業から資金調達の困難を理由に撤退することを公表しました。2016年にはベトナムが合計 14 基の原子炉を建設する計画を中止しましたが、この建設には三菱重工が携わることになっていました。2018年には日本の会社（三菱重工）がやはり財政的な理由からトルコの新原発建設計画を断念しました。同じく2018年に東芝はアメリカの原子力大手のウェスチングハウスを買収してから何千億円という損失を計上し、原発部門から撤退する発表をしています。こうして日本は、原発輸出で原発事業を活性化させようとする目論見はすべて暗礁に乗り上げたこととなります。これで原子力エネルギーには単に倫理的や環境の理由からだけでなく、経済的にも未来がないということを日本政府と原子力ロビーが肝に銘じてくれることを祈るばかりです。

残念ながら、これが今日私が皆さんにお伝えできる唯一、ポジティブなニュースです。

福島第一原子力発電所の敷地には現在、830 基以上のタンクに汚染水が貯蔵されています。これはほぼ 90 万トンに相当します。毎年この量は 5 万トンから 8 万トンずつ増えるため、東電は近いうちに貯蔵する場所がなくなると訴えています。この汚染水はすでにフィルター装置で除染されており、トリチウム以外の放射性物質はほぼ存在しない、トリチウムだけが除染できないため残っているという話でした。それで東電は、この汚染水を海に流したいと考えています。事故が起ころなくてもトリチウムはどの原発からも出るものだから、というわけです。ちなみにベルリン・ヴァンゼーにある研究用原子炉でも毎日 1 トンもの水蒸気が排出されていますが、これは一日ごと 10 億ベクレルのトリチウムに相当します。トリチウムというのは核分裂の副産物であり、どの原発からも出ます。水素の同位体であるため、水から取り出すのは非常に手間がかかるか、ほとんど不可能といってもいい性質のものです。でも、フクシマ第一でのフィルターシステムがトリチウムだけでなく、ヨウ素 129 を始めほかの放射性核種も除去

していないことが最近明らかになりました。それで汚染水を海に放出する話はひとまず延期となったのですが、海水放出計画が完全に断念されたわけではありません。

現在、当局の発表では約 54000 人の避難者が日本各地に散らばっているとされています。そのうち今でも約 3 万人が仮設住宅や供与住宅等で暮らしています。帰還困難区域から 4 町村が避難指示解除になりましたが、実際に帰還したのは元の住民の 4.3%、1501 人に留まっており、お年寄りがほとんどです。子供や若い人がいる家族は、放射線がまだ高く、インフラストラクチャーや経済的地盤がまだ整っていないため、帰れないのです。しかし、避難解除になると仮設住宅の提供などの支援が打ち切られることになりました。つまり、避難解除になっても帰還しないいわゆる「自主」避難者はこれからは避難者とは数えられず、これから一切なんの公的支援も受けないことになるのです。

日本の原子力安全保安委員会だけでなく、国際原子力機関も福島原発事故以来その戦略を変えました。これまでは「原子力は安全」というものでしたが、その「安全神話」が効かなくなってから、別の神話を広めています。それは「原発事故があっても大丈夫」という神話です。ちょっとくらいの放射線は問題ない、福島などの原子力事故もすぐにコントロールでき、健康には一切危険はない、そういう神話です。でもこうした事故で一体どれだけの人間が人生のそれまでの基盤、故郷、慣れ親しんだ日常を奪われたことでしょうか。なにもかもがそれまでとは変わってしまうのも、そして政府が市民をいともたやすく見捨てるかを私たちは見てきました。

チェルノブイリと福島を忘れない、というだけでは足りません。いわゆる「核の恐怖」はトランプやプーチンなどのいる今日また現実性を帯びてきましたが、普通はこれは核戦争を指す言葉です。でも、核戦争と原発事故の違いは何でしょうか？ いったい誰が好んで、自分や子供の身をどう守っていいかわからない状態で、周囲はすべて汚染され、ただ「大丈夫、心配するな」と気休めだけ言われながら故郷を失いたいでしょうか。チェルノブイリと福島が起こってしまった今となっては、私たちは、この二つの間にはとどのつまりなんの違いもないことを知っていなければならないはずです。だからこそ、単に核兵器廃絶を訴えるだけでなく、同じように世界中で原子力エネルギーからの完全な撤退を求めていかなければなりません。ウランは地中から出してはならず、濃縮などはもつてのほか、これ以上核分裂を起こすことも放射性廃棄物を出すことも許してはなりません。私たちはもう十分に地球を汚してしまいました。でもこの狂気の沙汰を止め、平和で安心して暮らせる未来を子供や孫たちのために作っていかうと努力しないで、一体だれがすべきだというのでしょうか？